

12月の衛研検査情報

～トピックス～

横浜市衛生研究所の移転再整備事業について

昭和43年に磯子区に建設された衛生研究所は、老朽化による外壁のひび割れ、雨漏り等が発生し、健康危機管理施設として危険な状況になっていました。また、検査項目の増加・細分化による検査機器類の大型化・専門化により施設の狭あい化が著しく、効率的な検査体制に支障が生じていました。さらに、平成18年に実施した耐震診断では、平成27年度までに対策を講じる必要があるとされました。

これらの状況をふまえ、かつ高まる健康危機管理ニーズに対しより迅速・的確に対応するため本事業に着手しました。平成22～23年度に基本設計、23～24年度に実施設計を行い、25年1月に建設工事着工、約20か月の工期で26年8月にしゅん工しました。その後、約3か月間の移転期間を経て、26年12月に新施設開所となりました。

主な特色 延床面積の増【約1.5倍】、微生物安全実験室の増【1室→3室】、化学安全実験室（ケミカルハザード対応室）の新設、原虫専用実験室の新設、免震構造の採用、2回線受電方式の採用、自家発電設備の新設、入退室管理システムの導入

海水浴場水質調査

金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。5月（海水浴場開設前）及び7月（開設中）に環境省の依頼により検査を行いました。

海水浴場水の採水は、健康福祉局生活衛生課が金沢福祉保健センター、環境創造局および公益財団法人横浜市緑の協会の協力を得て行いました。

主な結果 水質検査結果については環境省通知で定められた水浴場水質判定基準によって適（「水質AA」、「水質A」）、可（「水質B」、「水質C」）、不適に区分されます。今年度の判定区分は5月、7月ともに「水質B」でした。なお、昨年度も5月、7月ともに「水質B」でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。

検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成26年11月は、インフルエンザ流行情報（1号、2号）やインフルエンザワクチンに関するページのアクセスが多くみられ、総件数は149,459件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。